

NISEKO生活・モデル地区の実現に向けて - まちづくり会社の活動報告 -

日時：3月15日（月）

時間：18:00～20:00

場所：町民センター 大ホール

備考：参加無料・事前申込不要

託児有（事前申込 3/10（水）まで）

～新型コロナウイルス対策の一環として以下を追加します～
当日オンライン参加可能（事前申込3/14（日）まで）

申込先：ニセコ町役場企画環境課 自治創生係

0136-44-2121 / jichi@town.niseko.lg.jp

2020年7月、町と地元事業者、専門家団体が共同で出資し、ニセコ町のまちづくり会社「株式会社ニセコまち」が設立され、「NISEKO生活・モデル地区（通称：SDGs街区）」の構築や地域エネルギー事業を軸に活動を進めています。今回は、直近での株式会社ニセコまちの取り組みや、SDGs街区の構築に向けた計画状況や、関連して新たに始めた活動の取り組み等について、ニセコに生活拠点を移して、半移住しながら活動を行っているメンバーを中心にお話させていただきます。ご参加にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の為、**当日オンラインでの参加も可能です**。会場参加の場合、マスクを着用していただくとともに、咳や発熱など体調に不安のある方は参加をお控えくださいますようお願いいたします。開催内容は、後日、町HPで動画配信を予定しています。

- メインスピーカー（予定） -



土谷 貞雄（つちや さだお）
ニセコ半移住歴：7ヶ月

コンサルタント、建築家、住まい、暮らしに関する研究者、コラムニスト。ニセコで生活を始めて7ヶ月。ニセコの暮らしを自身も行いながら、住民との対話を繰り返し、街区設計や事業戦略に落とし込んでいる



牧 寛之（まき ひろゆき）
ニセコ半移住歴：2ヶ月

空き家や遊休不動産の再生・利活用を軸に住民を巻き込んだ参加型まちづくりの実践者。ニセコでは「明日をつくる教室」という活動を立ち上げ、ニセコに住む方に対して、インタビューやイベントを通して話を聞き、まちづくり活動とを繋いでいる



村上 敦（むらかみ あつし）
ニセコ半移住歴：1ヶ月

クラブヴォーバン代表。ドイツ在住だが、2021年からニセコとドイツの2拠点生活を開始。環境やエネルギー分野を軸に、SDGs街区の構築や地域エネルギー事業の推進を担い、気候中立と活発な経済活動の両立モデルを実現していく